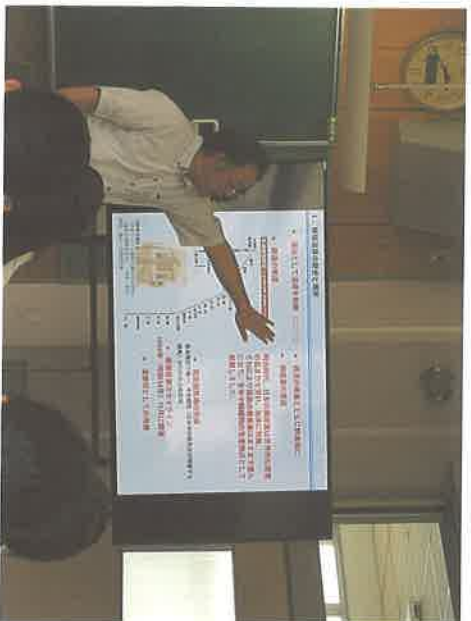


# 地域で活躍する大人が学ぶ

～1年生対象「職業人に話を聞く会」～ 7/4(金)開催



(題字は、三年二組・加藤留菜さんです。)

令和七年七月十日  
大島中学校  
第十七号  
学校だより

先週発行で  
まだ申し込みが  
残っています。

日に新

「一年生の総合的な学習の時間」で開催されました。  
講師として飯坂温泉観光協会会長 柳沼公貴様、  
有限会社まるせい果樹園 佐藤優様をお招きし、  
飯坂へ「熱い思いを聞かせて」いただきました。

おめでとう!! がんばる!!  
県大会 第3位

3年 畠田 真子さん  
上位大会出場と目標に、今後の頑張りを進めます



夏を制する者は受験を制す  
～夏休みの準備はすでに済ませる～

## 心の解放感

スモールカウンセラー  
菅 原理恵

思春期は「大人と子どもの間」を行き来する時期

保護者のみなさま

お子さんの成長に目を細める日々ですね。特に中学生になると、心も体も大きく変化する「思春期」に入ります。この時期のお子さんの様子を見て、「あれ?」と感じることはありませんか?

思春期はまさに、「子どもだけでも、もう子どもではない」、そして「大人のような面もあるけれど、大人とは言い切れない」という、不思議な時期です。

例えば、急に難しい言葉を使ったり、身のまわりや社会のできごとに意見を言ったりと、ハッと大人びた表情を見せることがあります。でもその一方で、ちよとしたことで落ち込んだり、甘えてきたり、まだまだ幼い顔をのぞかせることもありますね。

また、自分の部屋に閉じこもって親との会話を避けるかと思えば、急に学校でのできごとを夢中で話し始めたり、普段は反発ばかりしていても、困った時には親を頼ってきたり。

これは、お子さんが「自分とは何か」を探し、自立に向けて心と体が大きく揺れ動いている証拠です。昨日できなかったことが今日はできなったり、さっき言っていたことと違うことを言い出したりと、一見矛盾しているように見えるかもしれません。しかし、そうした試行錯誤が、お子さんが自分らしい「大人」になるための大切なステップです。保護者のみなさまには、そんな「大人と子どもの間」を行き来するお子さんの姿を温かい目で見守っていただけたらと思います。

熱中症に厳重警戒

異常な暑さが続いています。くれぐれも注意をお願いします。  
水分の補給は確実に!!